

都市再生整備計画 事後評価シート
とちぎ蔵の街周辺地区

令和4年3月

栃木県栃木市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	栃木市		地区名	とちぎ蔵の街周辺地区(地方都市リノベーション事業・地方再生コンパクトシティ)			面積	99.2ha		
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	4,482百万円	国費率	0.500				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業【市道11178号線新設】 地方都市リノベーション推進施設【(仮称)文化芸術館、(仮称)統合保育園】 既存建造物活用事業(地方都市リノベーション推進施設)【(仮称)文学館】 既存建造物活用事業(高次都市施設)(地方都市リノベーション事業)【(仮称)地域交流センター】										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初変更	平成28年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	まちなか満足度	%	19.7	H27	28.5	R2		22.4	△	あり なし ●	市道11178号線、栃木市立美術館、栃木市くらのまち保育園等の整備により、アンケート調査におけるまちなか満足度の目標値の達成には及ばなかったものの、評価値は従前値より2.7%増加したことから一定の効果が発現している。	
	指標2	人口減少率	%	-4.7	H26	-4.0	R2		-8.2	×	あり なし ●	少子高齢化の進展にともなう人口減少に加えて、平成27年9月の関東・東北豪雨及び令和元年10月の東日本台風の災害により、翌年度において大きな人口減少がみられ、目標値の達成には及ばなかった。しかしながら、地域活動支援施設であるキョウトウとちぎ蔵の街楽習館や子育て支援施設である栃木市くらのまち保育園が整備されたことによる一定の効果が発現している。	
	指標3	歩行者通行量	人/12h	12,013	H29	12,700	R3		4,006	△	あり なし ●	調査地点の変更(減少)があったため、令和2年の調査結果は4,006人/12hとなった。平成29年調査を令和2年調査にあわせると5,245人/12hであり、平成29年調査に比べ約1,200人少ない状況である。しかしながら、令和2年調査は雨天の中実施したため、歩行者の通行が減少したと考えられる。あわせて新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、不要不急の外出の自粛の影響が大きいと考えられる中、調査地点の1つは平成29年調査より267人/12h多く、新型コロナウイルス感染症の影響が改善されることによる目標値の達成は可能と考える。	令和4年10月
	指標4	観光客入込数	人/年	312,538	H28	328,000	R3		273,818	△	あり なし ●	令和2年度の計測値は、新型コロナウイルス感染症の影響による不要不急の外出の自粛等により、目標値の達成には及ばなかった。しかしながら、新たな魅力創造プロジェクト、デザインേഷンキャンペーン等の関連事業の実施により平成30年度までは観光客入込数は順調に増加し、平成30年度時点で目標値を達成していたことから、新型コロナウイルス感染症の影響が改善されることによる目標値の達成は可能と考える。また、栃木市立美術館や栃木市立文学館が令和4年に開館し、観光客の増加も見込まれることから目標値の達成は可能と考える。	令和4年10月
	指標5	観光客消費額	百万/年	579	H28	608	R3		508	△	あり なし ●	令和3年度の推計値は、新型コロナウイルス感染症の影響は考えられるものの、空き家空き蔵再生生活活用促進事業、新たな魅力創造プロジェクト、デザインേഷンキャンペーン等の関連事業の実施による本地区の魅力向上により、空き家空き蔵の活用数は順調に増加し、目標値を達成することができた。	令和4年10月
	指標6	空き家空き蔵活用数	件	-	H29	10	R3		11	○	あり なし ●	令和3年度の推計値は、新型コロナウイルス感染症の影響は考えられるものの、空き家空き蔵再生生活活用促進事業、新たな魅力創造プロジェクト、デザインേഷンキャンペーン等の関連事業の実施による本地区の魅力向上により、空き家空き蔵の活用数は順調に増加し、目標値を達成することができた。	令和4年10月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	文化芸術施設・子育て支援施設・市民活動支援施設の整備状況の満足度	%	17.2	H27				21.8		市道11178号線、栃木市立美術館、栃木市くらのまち保育園等の整備により、アンケート調査における文化芸術施設・子育て支援施設・市民活動支援施設の整備状況の満足度が従前値より4.6%増加した。特に市民活動支援施設として整備したキョウトウとちぎ蔵の街楽習館の施設稼働率は高く、学生から高齢者までの幅広い年代の方が多様に活用している。		
	その他の数値指標2	14歳以下人口の割合	%	8.9	H30				9.0		少子高齢化の進展や災害により人口は減少しているものの、栃木市くらのまち保育園や市道11178号線の整備により、安全・安心な歩行環境や子育て環境が向上したことから、本地区における14歳以下人口の全体における割合が増加した。		
4) 定性的な効果発現状況	なし												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	市民向けのセミナーやワークショップ、スモールツーリズムなどの実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 市民向けの官民連携まちづくりセミナーを開催する。						
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり研究会 新たに地元の住民により組織し、蔵の街の活性化につながる事業を企画・実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● エリアプラットフォームとして「蔵の街とちぎプラットフォーム」を構築し、策定した「蔵の街とちぎ未来ビジョン」の実現に向け、まちづくり会社を設立し、各プロジェクトを実施する。							

様式2-2 地区の概要

とちぎ蔵の街周辺地区(栃木県栃木市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:住まい、賑わい、集いの拠点 歴史・文化を活かし育む とちぎのまちなか再生 目標1:多様な都市機能の集約的配置による魅力・活力・賑わいの創出 目標2:公的不動産を有効に活用した複合的都市拠点の形成		まちなか満足度	単位:%	19.7	H27	28.5	R2	22.4	R3
		人口減少率	単位:%	-4.7	H26	-4.0	R2	-8.2	R2
		歩行者通行量	単位:人/12h	12,013	H29	12,700	R3	4,006	R2
		観光客入込数	単位:人/年	312,538	H28	328,000	R3	273,818	R2
		観光客消費額	単位:百万/年	579	H28	608	R3	508	R2
		空き家空き蔵活用数	単位:件	-	H29	10	R3	11	R3



■基幹事業:既存建造物活用事業
(地方都市リノベーション事業)
栃木市立文学館



■基幹事業:地方都市リノベーション推進施設
栃木市立美術館



■基幹事業:既存建造物活用事業(高次都市施設)
(地方都市リノベーション事業)
キョクトウとちぎ蔵の街楽習館
(栃木市市民交流センター)



とちぎ蔵の街周辺地区
都市再生整備計画事業
東地区

○関連事業(地方創生推進交付金事業)
Tochigi Edo style 歌麿の愛したまち「とちぎ」
新たな魅力創造プロジェクト

○関連事業
蔵の街づくり促進事業
(空き家空き蔵再生活用促進事業、
蔵の街を活かしたまちづくり研究事業、
蔵の街づくり普及啓発事業)
デスティネーションキャンペーン

■基幹事業
既存建造物活用事業
(地方都市リノベーション推進施設)
(仮称)文学館(博物館)

■基幹事業
地方都市リノベーション推進施設
(仮称)文化芸術館(美術館)

■基幹事業
既存建造物活用事業(高次都市施設)
(地方都市リノベーション事業)
(仮称)地域交流センター

○関連事業
まちなみ修景事業

○関連事業
コミュニティバス事業
市民活動推進事業

○関連事業
文化財建造物等を活用した
地域活性化事業(拠点施設整備)

■基幹事業
地方都市リノベーション推進施設
(仮称)統合保育園

■基幹事業
道路
(地方都市リノベーション事業)
市道11178号線新設

○関連事業
(都市再生コーディネート等推進事業)
民間活力導入
(複合施設等)

○関連事業
(仮称)シビックセンター
(観光案内所、多目的スペース、
商業施設、宿泊施設等複合施設)

○関連事業
合同庁舎(園)

凡例
■ 基幹事業
○ 関連事業



■基幹事業:地方都市リノベーション推進施設
栃木市くらのまち保育園



■基幹事業:道路(地方都市リノベーション事業)
市道11178号線



○関連事業:栃木市観光交流館「蔵なび」

まちの課題の変化	【達成されたこと(課題の改善状況)】 ・市道11178号線の整備により、キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)や栃木市くらのまち保育園へのアクセス環境とともに、安全・安心な歩行環境が形成された。 ・栃木市くらのまち保育園の整備により、子育て環境や居住環境が改善した。 ・旧栃木中央小学校跡地においてキョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)を整備したことにより、公的不動産の有効活用と分散配置されている市の施設・機能の集約化が図られた。 ・栃木駅前市有地において、本市の玄関口にふさわしい魅力と賑わいを創出するための栃木市観光交流館「蔵なび」、並びにホテル・店舗及び住宅機能を持つ複合施設が、民間活力の導入により整備され、公的不動産の有効活用が図られた。 ・キョクトウとちぎ蔵の街楽習館(栃木市市民交流センター)の整備により、活発な市民活動を支援する拠点が創出された。 ・栃木市立美術館や栃木市立文学館、栃木市観光交流館「蔵なび」等の整備により、魅力と賑わいの拠点が創出された。 【残された未解決の課題】 ・空洞化の抑制を図るため、残された未改良地区や施設の継続的な整備により、安全・安心な居住環境の形成を推進する必要がある。 ・旧栃木警察署跡地の有効活用による、都市機能の集約と再構築をさらに推進する必要がある。 ・とちぎ蔵の街周辺地区と国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町地区との連携を強化するとともに、商業活動や市民活動などを支援し、魅力と活力と賑わいのあるまちづくりを推進する必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・歩行環境や居住環境等の継続的な整備や都市機能の集約を推進するため、既存ストックの活用等により都市機能の維持・誘導を図る。 ・魅力と賑わいの拠点の継続的な魅力の向上を図るため、都市機能の維持・誘導を図るとともに、新たな魅力創造プロジェクト等のソフト施策の継続的な実施により魅力向上を図る。 ・残された未改良地区における安全・安心な居住環境の形成を図るため、既存ストックの活用等による都市機能の維持・誘導とともに、平成27年9月の関東・東北豪雨及び令和元年10月の東日本台風の記録的豪雨により浸水被害を受けた地区の対策を図る。 ・まちなかの大規模市有地(旧栃木警察署跡地)の有効活用を図るため、魅力と活力と賑わいを創出するため民間活力の導入を推進する。 ・嘉右衛門町地区ととちぎ蔵の街周辺地区の連携強化を図るため、両地区の回遊性の向上により、魅力と活力と賑わいのあるまちづくりを推進する。